



三菱電機 エル 空調管理システム

ON/OFFリモコン PAC-YT40ANR-W1 据付説明書

この説明書は、最大50台（グループは16まで可能）までの空調機、ロスナイを管理、制御できるON/OFFリモコン（以下「リモコン」と表記）の据付けについてのみ記載しております。空調機本体への配線および空調機本体の据付方法に関しては、空調機本体の据付説明書をご覧ください。
また安全のため、下記 **1 安全のために必ず守ること** をよくお読みください。

1 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家傷、家財などの損害に結びつくもの。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
移設・修理の際は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。お客様自身で据付工事をする不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなす。据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、質量に充分耐える所へ確実にこなす。強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」、及び本説明書に従い施工する。電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

お客様自身で移設はしない。据付工事に不備があると感電、火災等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

改造、修理は絶対しない。改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

注意

可燃性ガスの漏れの恐れのある場所へ据付けない。万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用する場所へ据付けない。感電、故障の原因になります。

特殊環境には使用しない。油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

配線は電流容量にあった規格品の電線を使用すること。漏電や発熱、火災の原因になることがあります。

病院、介護事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与える。人体の医療行為を妨げたり医療行為の乱れや延滞等の弊害の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほごりを付着させない。火災、感電の原因になることがあります。

リモコンケーブルは引き込み口を、パテで確実にシールする。霧、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります。

総線シートを外さない。火災、感電の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。感電、故障の原因になることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。感電、故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。変形、故障の原因になることがあります。

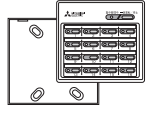
ボタンを先のとがった物で押さない。感電、故障の原因になることがあります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生することには据付けない。壁が結露するよう場所を避けてください。感電、故障の原因になることがあります。

AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。本機への印加電圧は最大でAC30Vです。破壊、発火、火災の原因になることがあります。

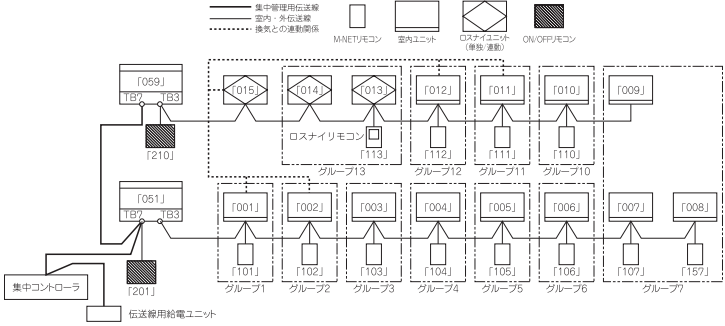
2 部品確認

- 箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。
 - (1) リモコン（カバー、本体、下ケース）.....1
 - (2) 十字穴付きナベネジ M4×302
 - (3) 本ネジ 4.1×16（壁に直接取付ける時使用）.....2
 - (4) 部屋名記載シート.....8（予備4含む）
 - (5) 取扱説明書.....1



お願い リモコンコードは現地手配となります。下記に示す仕様に相当する電線を用意してください。
電線仕様（CVVS）
1.25mm²のケーブルは10mを超える所から延長用としてお使いください。
○10m以内.....0.75mm²の2心ケーブル
○10mを超える部分.....1.25mm²の2心ケーブル
リモコンの配線引込み部分は最大1.25mm²の電線を通せます。但し、作業上0.75mm²の電線を推奨します。

3 システム構成例



M-NET各種機種のアドレス設定（アドレスの変更はできません）

機種	アドレス設定方法	アドレス
室内ユニット ロスナイ	右記アドレス範囲内で任意	1~50
室外ユニット	同一冷凍系統の最小室内ユニットアドレス+50番	51~100
M-NETリモコン	右記アドレス範囲内で任意	101~200
ON/OFFリモコン	右記アドレス範囲内で任意	201~250

●集中管理用伝送線に接続し、伝送線用給電ユニットから給電する場合
室外ユニットの給電切換コネクタはCN41（出荷時設定）のままとしてください。

容量係数	ON/OFFリモコン	4
------	------------	---

詳細は「マルチエアコン 総合カタログ」の「工事情報」を参照してください。

お知らせ

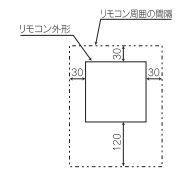
- 1本組は電源線を省略し、伝送線についての構成のみをまわしています。
- 2M伝送線のシールドアース（接地）は系統内で任意に1点設けてください。
- 3ユニットリモコンは使用できません。
- 4ON/OFFリモコンは最大50台までの室内機、ロスナイを管理することができます。
- 51つのON/OFFリモコンで管理できるグループ数は最大16グループです。管理できるグループ番号は、初期設定にて変更できますが、通常は自己アドレスの下二桁の値から15を足した値のグループ番号で管理できます。
（例）ON/OFFリモコンの自己アドレスを210に設定するグループ番号10-21グループは管理可能

自己アドレス設定により決定される管理グループ範囲には支障がある場合、本機が上位設定/下位設定にかかわらず、後述記載の初期設定-最小管理グループNo.設定を実施することにより自己アドレスの設定値に関係なく管理グループ範囲を決定できます。詳細は5初期設定を参照してください。

●集中管理用伝送線に接続し、室外ユニットから給電する場合（R410A対応機種のみ）
この場合、室外ユニットの給電切換コネクタCN41をCN40へ差し替えてください。※複数冷凍系統システムの場合、給電コネクタの差し替えは1台の室外機のみとさせていただきます。
室外機の給電能力システムコントロール接続台数の詳細は「マルチエアコン 総合カタログ」の「工事情報」を参照してください。

4 据付方法

- (1) リモコン（スイッチボックス）の据付け位置を決めてください。但し下記の事項を必ず守ってください。
 - ① スwitchボックス、壁どちらに据付ける場合でも、右図に示すスペースを確保してください。
 - ② 下記の部品は現地で調達してください。
 - 2倍用スイッチボックス（JIS C8340）
 - 薄網電線管（JIS C8305）
 - ロックナット、フッティング（JIS C8330）
- (2) 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためリモコンコード引込口をパテで確実にシールしてください。



スイッチボックスを使用する場合

- スwitchボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールしてください。

壁に直接据付ける場合

- 壁に穴を開けリモコンコードを通す場合（リモコンコードをリモコン背面から出す場合）その穴をパテでシールしてください。
- 上ケースの切り取った部分よりリモコンコードを通す場合は上ケースの切り取った部分を同様にシールしてください。

- (3) 下ケースをスイッチボックスまたは壁に据付けます。

スイッチボックスを使用する場合

2倍用スイッチボックス、リモコンコード、十字穴付きナベネジ、リモコン本体のCN1へ接続（4）参照、外部出力ケーブル（4芯別売）リモコン本体のCN3へ、外部入力ケーブル（5芯別売）リモコン本体のCN2へ、コード引込口をパテで確実にシールしてください（2）参照。

壁に直接据付ける場合

外部入力機能を使用する場合、リモコン本体のCN1へ接続（4）参照、外部出力ケーブル（4芯別売）リモコン本体のCN3へ、外部入力ケーブル（5芯別売）リモコン本体のCN2へ、コード引込口をパテで確実にシールしてください（2）参照。

注意 ネジを締めすぎないでください。下ケースの変形、割れの原因となります。

お願い 据付面は平らな所をお選びください。
● スwitchボックスまたは壁への据付けは必ず2カ所以上を固定してください。

- (4) リモコンコードを下ケースの端子台に接続します。下図を参照して正しく配線してください。

極性はありません。リモコンコードは現地手配です。

注意 リモコンの端子台への接続に圧着端子は使用しないでください。基板と接触し故障の原因となります。

- (5) ロータリースイッチでリモコンのアドレスを設定します。

ロータリースイッチ SW2 SW1
10桁 1桁
（例）アドレス201の場合

ロータリースイッチのアドレス設定
01~50
200を付加した数字で201~250

注意 アドレス設定時は、精密ドライバー（φ2.0mm（w））を使用し、印加重量は19.6N（2kg）未満で操作してください。上記以外の方法で操作しますとロータリースイッチがこわれてしまうことがあります。

お知らせ ●リモコンで設定できるアドレスNo.は201~250までです。1000の位は「2」で固定されています。
●上記以外のアドレスNo.に設定しますと、「AdE」が表示され、アドレス設定エラーを発生します。
●工場出荷時、ロータリースイッチは01に設定してあります。

- (6) 上位システムコントローラ（集中コントローラ）と併用する場合は右図のスイッチにてリモコンを「下位」に設定してください。
 - 工場出荷時、スイッチは「上位」に設定してあります。SW4-1：OFF = 「上位」 ON = 「下位」
 - SW4-2~3は、外部入力モード切替用のスイッチです。

- (7) 壁などに直接リモコンを据付ける場合の配線（露出配線の場合）

リモコンコード

- リモコン本体の上部薄肉部（斜線部）をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
- 端子台に接続したリモコンコードをこの部分から出します。**外部入力/出力ケーブル（壁に直接つけ外部出力機能を使用する場合のみ）**

外部入力/出力ケーブル（壁に直接つけ外部出力機能を使用する場合のみ）

- リモコン本体の左右側面薄肉部をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
- CN2側：外部入力ケーブル用
- CN3側：外部出力ケーブル用
- 外部入力/出力ケーブルをこの部分から引き込みます。

- (8) 下ケースのコネクタをリモコン本体のコネクタCN1に接続します。外部入力機能を使用する場合は、合わせてCN2に外部入力ケーブルコネクタ（5芯）、CN3に外部出力ケーブルコネクタ（4芯）を接続してください。

注意

- 接続後、右図のようにぶら下げないでください。コードが切れるなど、動作に影響をきたす可能性があります。
- コードは必ずフック（コード固定）に通してください。通していない場合、端子台に直接力が加わりコードが切れる可能性があります。
- 基板保護シート、基板は取外さないでください。故障の原因となります。

- (9) リモコン本体をはめ込みます。

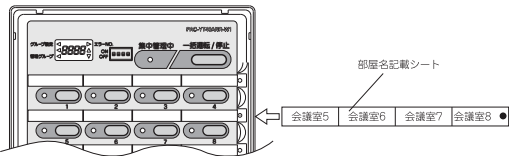
リモコン本体を外す場合は右図のようにマインドライバー（刃幅4~7mm）を爪部分にはめ込み矢印の方向に動かします。

上部爪（2カ所）を先に掛けて、上図のように下ケースにはめ込みます。外部入力機能を使用し、下ケースのケーブル引込口を使用している場合、外部入力/出力ケーブルをスイッチボックス側へ押し込みながらリモコン本体をはめ込んでください。（ケーブルのシース部分まで下ケースからスイッチボックス側へ押し出してください。）

注意 「パチッ」と音がするまで確実ににはめ込んでください。確実ににはまっている場合、落下の恐れがあります。

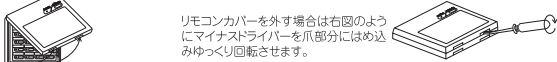
お願い 操作部には保護シートが貼られています。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

- (10) 部屋名記載シートに部屋名を記載し、下記のようにリモコン本体に挿入します。
部屋名は鉛筆書きまたは、市販のシール印字機などで部屋名を印字し貼付けてご使用ください。



ⓘ お留心 部屋名記載シートには保護シートが貼付されています。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

- (11) リモコンカバーを取り付けます。
初期設定はカバーをとった状態で設定しますので、初期設定実施後カバーを取り付けてください。



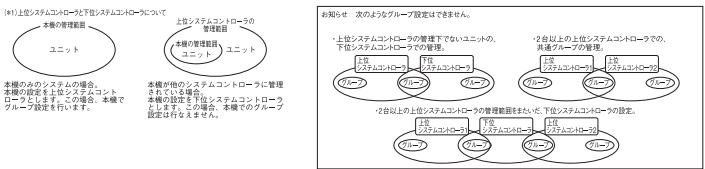
⚠ 注意 「パチッ」と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはまっていない場合、落下の恐れがあります。

⚠ 注意 ドライバーを回転させる時は、あまり力をいれずゆっくり回転させてください。力をいれすぎると爪がこわれてしまうことがあります。

5 初期設定

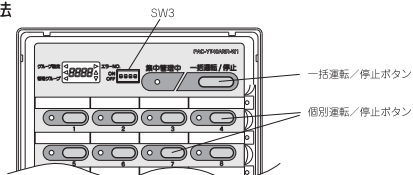
初期設定モードには以下の2種類があります。

- (A) 最小管理グループNo.設定
本機が管理するグループ範囲は自己アドレス設定により決定されます。自己アドレスにより決定される管理グループ範囲では支障がある場合、最小管理グループNo.設定を実施し管理グループ範囲の変更をしてください。
- (B) グループ設定
本機が管理するコントローラを各グループに編入します。室内機、単独ロスタイ、手元リモコン、及び下位システムコントローラを各グループに編入します。
- 上位SC設定時
グループ設定が必ず必要です。また必要に応じ最小管理グループNo.設定が必要です。
 - 下位SC設定時
必要に応じ最小管理グループNo.設定が必要です。グループ設定は不要です。上位システムコントローラ側でグループ設定します。
 - 室内機とロスタイの連動制御を掛ける場合、連動設定が必要ですが本機では設定できません。本機が上位SC設定時の場合は併設されます手元リモコンにて、本機が下位SC設定時の場合は上位SC設定のシステムコントローラにて連動設定を実施してください。(上位SC設定のシステムコントローラがON/OFFリモコンであった場合は手元リモコンにて連動設定してください)

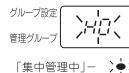


5

5-1 初期設定方法



- (1) カバーを外します。
(2) 本機に給電を行います。



[H0] 表示と集中管理中ランプが点滅
●すでにグループ設定情報が登録されている場合は、電源投入後「H1」表示し、しばらくすると画面が消灯し、通常操作可能な状態(以下 通常モードと表記)となります。

(3) 初期設定モードへの移行操作

- (2)の[H0]表示画面あるいは、通常モードで全グループが停止の時の初期設定モードへの移行操作が可能です。通常モードで個別グループの運転LEDが点灯している場合、「一括運転/停止」ボタンを押して全グループ停止としてください。

① SW3の1番を「ON」に設定します。



[自己アドレス表示画面]
●自己アドレスが2桁の点滅表示され、グループ設定初期画面に移行します。

[グループ設定初期画面]
●アドレス表示部の「-」およびグループ設定部にポジションマーク(◀)が点滅。
●グループ設定初期画面で既にグループ設定情報が登録されている場合は、登録されている一番若いアドレスのユニットNo.が表示されます。

② (最小管理グループNo.設定) SW3の2番を「ON」に設定します。

- ※ 自己が管理するグループ範囲を変更したいときのみ設定変更します。自己が管理するグループ範囲は自己アドレスの設定により決定されます。自己アドレスにより決定される管理グループ範囲では支障がある場合、本機が上位SC設定/下位SC設定にかかわらず、最小管理グループNo.設定を実施してください。

(例) 全く同一のグループを2つのON/OFFリモコンで管理したい場合、自己アドレスは重複設定できないため、2つのON/OFFリモコンが管理できるグループ範囲が一致しません。このようなときに、最小管理グループNo.設定変更を行うことで、自己アドレスの設定値に関係なく管理グループ範囲を決定できます。



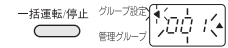
[最小管理グループNo.設定画面]
●本機が管理する最小のグループNo.(二桁)が点滅表示します。このグループ番号は「個別運転/停止」ボタン1のグループ番号を表します。また、「管理グループ」部にポジションマーク(◀)が点滅します。
●「一括運転/停止」ボタンを押しますとグループNo.(二桁)の表示が変化しますので、「個別運転/停止」ボタン1に設定したいグループNo.に合わせて。
01 ⇨ 02 ⇨ …… ⇨ 50

SW3の4番を「OFF/ON」することにより、可変方向が切り替ります。(画面の上▲/▼表示も切り替ります。)
●SW3の4番=OFF(▲点灯)「一括運転/停止」ボタンを押すとプラス方向に変化。
●SW3の4番=ON(▼点灯)「一括運転/停止」ボタンを押すとマイナス方向に変化。

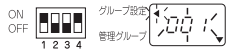
- 設定したグループNo.からプラス15したグループNo.まで本機で管理できるグループNo.となります。
(例) 自己アドレスが210の時、最小管理グループNo.を「10」から「25」に変更この場合、管理できるグループ番号幅はグループ25～40まで管理できるようになり、「個別運転/停止」ボタン1=グループ25、「個別運転/停止」ボタン2=グループ26、…、「個別運転/停止」ボタン16=グループ40となります。
●SW3の2番を「OFF」にすれば①のグループ設定初期画面に移行します。

6

③ (グループ設定) 編入したいアドレスNo.を表示させます。

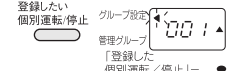


●「一括運転/停止」ボタンを押しますとアドレスNo.の表示が変化しますので、登録したいアドレスNo.に合わせます。
--- ⇨ 000 ⇨ 001 ⇨ 002 ⇨ …… ⇨ 250



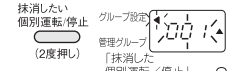
- SW3の4番を「OFF/ON」することにより、可変方向が切り替ります。(画面の上▲/▼表示も切り替ります。)
●SW3の4番=OFF(▲点灯)「一括運転/停止」ボタンを押すと表示アドレスがプラス方向に変化します。
●SW3の4番=ON(▼点灯)「一括運転/停止」ボタンを押すと表示アドレスがマイナス方向に変化します。
●表示しているアドレスNo.がすでに登録してある場合は、アドレスNo.および登録してあるグループの個別運転ランプが点灯します。

④-1 (登録したい場合) 編入を行いたいグループの個別運転/停止ボタンを押す。



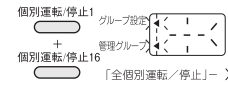
- アドレスNo.が点滅している状態で、登録したいグループの「個別運転/停止」ボタンを押します。
表示したアドレスNo.のコントローラをそのグループに登録します。
●正常に登録されると、アドレスNo.および登録したグループのランプが点灯に切り替りそのグループに編入されます。
●指定したアドレスNo.のコントローラが存在しない場合、あるいは異なる種類のユニット同士を同じグループに登録しようとした場合は、異常終了となります。この場合、アドレスNo.および個別運転ランプが点滅表示となります。

④-2 (抹消したい場合) 編入を解除したいグループの個別運転/停止ボタンを2回押す。



- アドレスNo.が点灯している状態で、編入を解除したいグループの「個別運転/停止」ボタンを連続して2回押します。
表示したアドレスNo.のコントローラが解除されます。
●正常に抹消処理がされますと、アドレスNo.が点滅し、抹消したグループのランプが点灯から消灯に切り替ります。

④-3 (全編入情報一括抹消をしたい場合) 個別運転/停止ボタン1と個別運転/停止ボタン16を同時に3秒間押す。



- 左記表示となり、正常に抹消処理が実施されますと、①のグループ設定初期画面に移行します。また、最小管理グループNo.設定も自己アドレスの設定により決定される管理グループ範囲にリセットされます。

⑤ ③、④の操作を繰り返して、すべてのコントローラの編入操作を行います。

- グループ設定操作は、室内機、単独ロスタイを全て編入し、次に手元リモコンを編入し、最後に下位システムコントローラの編入を行ってください。この手順で実施すれば編入作業がスムーズに設定できます。
- 同じグループには異なるユニット機種(室内機、単独ロスタイ)を登録できません。
- 1グループにはユニット(室内機の単独ロスタイ)を16台、手元リモコンとシステムコントローラを合わせて4台まで編入することができます。
- システムに手元リモコンが接続される場合、手元リモコンのアドレスをグループ編入してください。但し、手元リモコンがMAリモコンの場合は、グループ編入は不要です。

⑥ SW3の1番を「OFF」にします。



- ディップスイッチ3の1番を「OFF」に設定し、グループ設定モードを終了させます。
●[H1]が点滅表示し立上げ処理を実施します。
●[H1]表示が消灯すれば、立上げ処理が完了です。
通常モードになりましたので、通常操作が可能です。

7

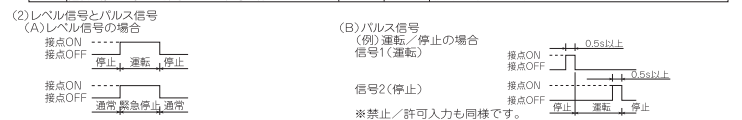
6 外部入出力使用方法

外部入出力機能を使用する場合は、別売の外部入出力アダプタ(形名:PAC-YT41HA)をお買い求めください。5線の入力ケーブル及び4線の出力ケーブルが同梱されています。

1. 外部信号入力機能

(1) 外部入力

No.	外部入力信号の機能	2番	3番	備考欄
1	外部入力信号毎使用せず(出清時)	OFF	OFF	
2	緊急停止/通常をレベル信号で行う	OFF	ON	緊急停止中、手元リモコンの運転/停止運転、および本機での運転/停止操作を禁止とします。
3	運転/停止をレベル信号で行う	ON	OFF	本機および手元リモコンの運転/停止操作を禁止とします。
4	運転/停止/許可をパルス信号で行う	ON	ON	接続ON時のパルス幅は0.5以上としてください。



(3) 外部入力仕様

CN2	リード線(5線)	緊急停止/通常をレベル信号	運転/停止のレベル信号	運転/禁止、禁止/許可のレベル信号
1番	緑	緊急停止/通常入力	運転/停止入力	運転入力
2番	赤	未使用	未使用	停止入力
3番	青	未使用	未使用	手元リモコン操作禁止入力
4番	黒	未使用	未使用	手元リモコン操作許可入力
5番	茶	コモン(共通) OV		

(A) レベル信号の場合

- ① 緊急停止/通常信号選択時、外部入力信号の接続OFF→ONの変化時に通常→緊急停止、接続ON→OFFの変化時に緊急停止→通常となります。

- ② 運転/停止信号選択時、外部入力信号の接続OFF→ONの変化時に停止→運転、接続ON→OFFの変化時に運転→停止となります。

(B) パルス信号の場合

- ① 運転中に運転信号をいれても運転のままです。(停止、禁止、許可も同様です。)
② 手元リモコン禁止とした場合、手元リモコンによる運転/停止の操作を禁止します。
③ パルス幅(接続ON時間)は0.5s以上としてください。

(4) 推奨回路例



- ① 無電圧接続、延長ケーブル等は別途、現地に手配してください。
② 接続ケーブルの延長は10mまでとしてください。(0.3mm以上のケーブルを使用してください。)
③ 使用しないケーブルはコネクタの近くでカットし、カットした部分はテープ等で確実に絶縁処理してください。

2. 外部信号出力機能

- (1) 外部出力
1台以上の空調機が運転しているとき「運転」、1台以上の空調機に異常が発生しているとき「異常発生中」の信号を出力します。

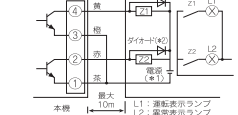
(2) 外部出力仕様

CN3	リード線(4線、黒チューブ付き)	各端子の内容
1番	赤	異常/正常
2番	青	異常
3番	黒	運転/停止
4番	赤	運転/停止

- ① [異常発生中]も「運転中」は出力します。

(3) 推奨回路例

リレーを駆動させる場合



- ① 運転中、異常発生中に各素子がONします。
② 接続ケーブルの延長は、10mまでとしてください。
③ リレー、ランプ、ダイオード、延長ケーブル等は別途、現地に手配してください。

リレー-Z1、Z2は次の仕様のものを使用してください。
操作コイル
定格電圧: DC12V、DC24V
消費電圧: 0.9W以下
(※1) 使用するリレーに合わせて電源を別途手配してください。(DC12VまたはDC24V)
(※2) リレーコイルの両端に必ずダイオードを入れてください。

8